

第5号議案

ITコンソーシアム京都（仮称）平成18年度事業計画（案）

本年度は、「京都高度情報化推進協議会」及び「京都情報基盤協議会」のこれまでの活動成果を継承し、誰もがITの恩恵を実感できる社会を目指し、京都におけるIT活用の先導的なプロジェクトを産学公の連携により積極的に推進するとともに、生活面・産業面でのIT活用の成果を、府市民に向け広報・啓発していきます。

プロジェクト関係では、京都デジタル疎水ネットワークや大学間情報ネットワークなど、これまで整備された情報基盤の一層の利活用を推進するとともに、新たなメディアとしての地上デジタル放送の積極的な活用について検討を進めます。また、医療情報化による患者本位の医療の実現を目指すとともに、IT化の重要課題である情報セキュリティについて効果的な対策の検討を行います。さらに、歴史的・文化的資源の蓄積という京都の特性を活かした文化観光面での取組の可能性についても検討を進めます。

広報・啓発関係では、本組織の設立を記念し府民向けにセミナーを開催するとともに、情報セキュリティに関する啓発事業を行います。また、ホームページによる情報発信や電子メールによる会員向け情報提供を行います。

本年度は、本組織の設立年にあたることから、会員の積極的拡大と会員相互の交流を図ります。

1 調査研究活動（部会活動）

以下のテーマについて部会を設置し、実証実験の実施や事業の立ち上げなど、具体的プロジェクトを推進

（情報ネットワーク）

- ・先進的な情報通信基盤（デジタル疎水、京都ONE（京都IX）、SINET、JGNII等）を活用した各種実証実験

（医療情報化）

- ・電子カルテのネットワーク化、医療分野におけるICタグの活用

（地上デジタル放送活用）

- ・官民連携によるデータ放送の利活用や普及啓発、難視聴対策の検討

（情報セキュリティ）

- ・中小企業や各種団体、教育機関等における情報セキュリティ対策の支援の検討

その他、京都における各種課題に対応し、随時部会の設置を検討（文化観光振興や安心安全まちづくり等）

2 普及啓発

- 府民セミナー
 - ・ 設立記念イベント（秋）
 - ・ インターネット安全教室（2回程度）

- 会員セミナー（年4回程度）
 - ・ 視察見学会（京都商工会議所情報産業専門委員会と共催）
 - ・ 最新のIT関係トピックスに関する会員向けセミナー

- ホームページ運営による情報発信

- 会員向けメール配信による情報提供

- 協賛事業
 - ・ 中小企業のためのホームページコンテスト

ITコンソーシアム京都(仮称) 予算(案)

平成18年6月8日から平成19年3月31日まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	備 考
I 収入の部		
1 会費収入	(4,430,000)	【会費収入内訳】 ・ 普通会員(20,000)×159 3,180,000 ・ 府(500千円)、市(500千円)、京商(150千円)、 ASTEM(100千円) 1,250,000
会費収入	4,430,000	
2 雑収入	(62)	預金利子
雑収入	62	
3 その他	(3,110,338)	
高情協線入金	2,070,338	
基盤協線入金	1,040,000	
当期収入合計	7,540,400	
II 支出の部		
1 事業費	(2,600,000)	
調査研究費	2,000,000	部会活動経費
総会費	500,000	総会・記念講演会
会議費	100,000	委員会、事務局会議
2 普及啓発費	(3,700,000)	
講演会費	2,300,000	設立記念イベント、インターネット安全教室等府民向けの各種セミナー・講演会
会員セミナー費	400,000	年4回程度
HP作成運用費	800,000	新設&サーバレンタル
協賛事業	200,000	ホームページコンテスト
3 事務費	(700,000)	
事務費	700,000	消耗品費/通信費/交通費/手数料 など
4 予備費	(540,400)	
予備費	540,400	
当期支出合計	7,540,400	
当期収支差額	0	
次期繰越収支差額	0	